

# たどり着いたのは、米沢

山形県米沢市 | 移住・交流ガイドブック



WHAT IS YONEZAWA

# 山形県米沢市

米沢市は山形県最南部に位置し、東に奥羽山脈、南に吾妻連峰、西に飯豊連峰と二千メートル級の山々に囲まれた盆地です。気候は夏暑く冬寒い、季節の移り変わりがはっきりとした盆地特有のもので、四季折々の情緒を肌で感じることができます。伝統産業の米沢織物、全国でも有数のブランド牛「米沢牛」の産地でもあり、上杉家の城下町として、数々の史跡と伝統が息づく歴史の街でもあります。

雪が多く冬の厳しい米沢には、都会では薄れてしまった助け合いの精神が残っています。四季のイベントや数々の観光資源をきっかけとして、そこに住む人たちとの交流を通じてあなただけの米沢の魅力をぜひ感じてください。



兜山より眺める米沢市



〈米沢市のデータ〉

面積 / 548.51km<sup>2</sup> 人口 / 86,208人 世帯数 / 33,342世帯 (2015年3月1日現在 国勢調査に基づく推計人口)

気温・降水量 / 年平均気温: 11.2 °C (最高: 約35°C・最低: 約マイナス10°C) 年降水量: 1362.8 mm (統計期間: 1981年～2010年)

# 米沢の魅力

## 農産物



### 米沢牛

日本三大和牛にも数えられる、全国的に有名なブランド牛。特有の上質な脂は、旨み、香りがあり、とろけるような食感です。出荷時期／通年



### さくらんぼ

山形を代表する初夏の味を楽しめる可愛いフルーツです。さくらんぼ狩りができる果樹園もあります。出荷時期／6月中旬～6月下旬



### りんご

果肉の中にアメ色の蜜がたっぷりに入ったりんごです。特に鎗山地区で生産される「鎗山りんご」が有名です。出荷時期／10月～11月



### うこぎ

上杉鷹山がウコギの垣根を推奨したとされ、春から夏にかけての新芽が美しく様々な料理法でいただけます。出荷時期／5月上旬～6月下旬



### 雪菜

雪菜は雪の中で育つ全国的にも珍しい野菜です。雪菜を漬けた「ふすべ漬」は独特の辛味があり食欲をそそります。出荷時期／12月下旬～2月



### 豆もやし

小野川温泉の源泉を利用して、冬の間に収穫されるもやしです。大豆の香りとシャキシャキ感が特徴です。出荷時期／11月～3月



### 丸茄子

古くから親しまれている丸茄子。漬け物にすれば、バリバリとした歯触りが味わいある逸品です。出荷時期／6月下旬～10月中旬



### 米

新ブランド米「つや姫」が山形からデビュー。「はえぬぎ」も食味ランキング16年以上連続特Aの高評価。出荷時期／通年



### そば

米沢は昔から蕎麦と「蕎麦がき」がよく食べられていました。コシが強く蕎麦通にはたまらないおいしさです。出荷時期／通年

## 伝統工芸・工業品

米沢藩中興の祖、上杉鷹山が産業振興を図るためにはじめて米沢織は米沢の伝統産業として、農家の副業として奨励した。笹野一刀彫は伝統工芸品として現代までその技術、精神が受け継がれています。また、東北でも有数の工業都市でもある米沢市は世界で初めての有機EL製品生誕の地であり、ものづくりの街でもあります。有機ELを応用した白色照明は環境に優しい次世代照明として注目されています。



米沢織



笹野一刀彫



有機EL照明



## PROFILE

### 千葉陽平 さん

愛媛県松山市出身、39歳  
家族4人(妻、子ども2人)農家1年生  
雪下ろし不要の土地つき一軒家を購入

南原地区にある、  
千葉さん自慢のそば畑。  
9月上旬には白い花が咲き、  
一面を埋め尽くします。



## LIFE STYLE INTERVIEW #01

# 土が教えてくれた 生き方

### 身体がここだと感じた

とある日、草むらに生えている1本の人参を口にした時に身体が感動し、無肥料・無農薬での農家になることを決意。各地を回る中で米沢市南原地区の土を触った時にここだと感じて米沢への移住を決めました。

### 肥料は「足音」

現在はソバを中心に旬の野菜を育てています。農薬、肥料は一切使わず、「畑が作りたい作物を育てる」がモットー。感覚的なものを大事にする。作物にとって最大の肥料は畑の主人の「足音」なんです。用事がなくても畑に足を運び、作物に主人の足音を聞かせることが、作物が一番元気になる秘訣です。

### 南原のソバを全国に

米沢に移住して約1年。農業をきっかけに様々な縁が生まれ、そこから次々と新たな取り組みが生まれます。無いものを作るのではなく、あるものを活かすことで農業にはまだまだ大きな可能性があると思う。

現在は主にソバを作っていますが、儲からないとの理由から

若手のソバ農家は少なく、このままでは南原のソバが無くなると危機感を抱いた私は、それまで南原では行われてこなかった十割乾麺ソバを作りました。そしてこれを私の故郷、愛媛県で販売。米沢の産直市場とも契約し、地産池消にも取り組んでいます。

### 人との繋がり

米沢の魅力は「四季を強く感じられること」。雪かきは大変ですが、その分、春を強く感じることができるのは雪国ならではの。移住への不安は当然あったんですが、楽しんで生活することで地域の方は協力的になってくれるし、畑も実は提供していただいたものなんです。人と人との繋がりがあるからこそ、今ここにいるわけで、その繋がりに感謝し今後も大切にしていきたいと思っています。



## LIFE STYLE INTERVIEW #02

# デンマークから米沢へ

### わたしが選んだのは「家族との時間」

東京出身でイギリス、デンマークに住んでいたこともありましたが、米沢への観光旅行がきっかけでデンマークから移住を決意しました。

東京に住んでいたころは何かと外へ出かけ、買い物をしたり、飲みに出かけたり、消費する暮らしをしていましたが、米沢で暮らし始めてからは自宅の裏に農園を作り、夢のひとつであったヤギを飼い、外へ出かけるよりも家の中で過ごす「家族との時間」を大切にすることがになりました。

雪かきの仕方がわからなくて悪戦苦闘していると、近所の方が除雪機で手伝ってくれた。慣れない畑仕事も、動物の世話も。米沢の人はみんなとても親切であたたかく、交流がとても楽しいです。



### 人と自然と動物が共存・共生できる場所

畑で採れた野菜が食卓に並んだり、飼っているヤギの出産に立ち会ったり、またさまざまな世代の人と交流することで心が豊かに育つ。四季折々の変化に富む自然に囲まれるのびのびと生活することができます。

近所の方の「孫に英語教えてけんにが?」という言葉がきっかけで自宅で英語教室も開催しています。



採れたて野菜でホームパーティ



屋根から落ちた雪ですべり台



### PROFILE

黒田三佳 さん

(後方中央)

東京都出身・移住歴15年  
移住当初はヤギを飼っていました



## LIFE STYLE INTERVIEW #03

# ただいま 米沢へUターン

米沢で生まれ、東京・アメリカと生活拠点を移していった黄木さん。当時は米沢の良さに気付かなかったそうです。

「祖父母の旅館『すみれ荘』を手伝っている時、このままずっと田舎で暮らしていくのかと思ったら虚しくなった。」

しかし東京、アメリカと移り住み、海外暮らしで日本の風景や人情の素晴らしさ、美しさを懐かしく感じ始め、そして徐々に今まで気が付かなかった地元米沢の良さを意識し始めたそうです。米沢に戻ってきたのは1998年。お父様のご病気が米沢に戻るきっかけでした。

その時に初めて知った『すみれ荘』の成り立ち、写真や文字からは伝わってこない創業への想い。その先代の想い、黄木さんのおもてなしの心、米沢の宝ものを堪能できるところが地元だけでなく県外のお客様にも伝わっています。



### PROFILE

湯の沢温泉 時の宿「すみれ」  
女将 黄木綾子 さん

### 移住を考えている人へアドバイス

家業を継ぐということは、先代の想いを受け継ぐということ。同じような境遇や米沢に家業がある人たちには、身内だからこそ分かる親や創業者の想いにしっかり向き合って、それを大切にしたいですね。

### 米沢の魅力

心が落ち着く素朴な自然をはじめ、歴史・文化も素晴らしいですが米沢は温かく、輝く人たちが一番の魅力。そこから生まれた素晴らしい食べ物が多いのも誇りに思います。



米沢の春を感じる風景  
相生橋から見る桜越しの西吾妻



自然を眺めながらの露天風呂  
『すみれ』の中でもお気に入り



## LIFE STYLE INTERVIEW #04

# 笑顔のたえない毎日

米沢で生まれ代々米沢の伝統文化を伝えている佐藤さんご家族。民謡一家として、市内のお祭りには欠かせない存在で、県外からも出演依頼が来ます。

「米沢はサムライ文化(上杉文化)が根強いですが、盆唄などの庶民文化を若い人に伝えていきたい。」  
常に自身の太鼓・唄・踊りの芸を磨きつつ、次の担い手を育て繋いでいく。

「本当の良さはステージだけじゃない。祭りを通し歴史や先人たちの想い、伝統文化を継承していきたい。」

佐藤さんと笑い話をしても温かい家族愛と地元愛の心を感じます。

### PROFILE

米沢民謡一家 代表  
佐藤仁 さん  
(下写真中央)



米沢上杉まつりに欠かせない、勇壮な上杉太鼓を披露する佐藤さん。



笑いのたえない佐藤さんとそのご家族。佐藤さんの周りは自然と温かい雰囲気包まれます。

### 移住を考えている人へアドバイス

米沢は四季がはっきりしています。体全部で四季を感じられる素晴らしい場所です。うごぎの垣根を美味しく食べられるようになれば、立派な米沢人です。

### 米沢の魅力

米沢は山に囲まれています。その山が米沢を守っています。車で少し行くと川の源流にも着く。街中とのちょうどいい距離感。そして、上杉の城下町でもあり、本物の歴史が堪能できるところです。

# NPOで地域とつながる



## 自転車で7000軒を訪問

米沢生まれの米沢育ち、大学は山形市で過ごしましたが、米沢に戻りたいという想いが根底にありました。様々な職業を経験後、自分の周りでの出来事をきっかけとしてフリースクール事業と、その相談の場としてカフェ事業を行うNPO法人を25歳の時に立ち上げました。

立ち上げ前の2ヶ月は、毎日自転車で市内を走りまわり、約7000軒を訪問。自らの想いを綴ったチラシを配ってまわりました。スタッフ2名、生徒ひとりからのスタート、最初は給料など無く、ようやく出せても2万円程度でした。

後に卒業後のサポートの必要性やフリースクールに該当しない20代、30代の若者への支援のため就労支援事業を始めます。また、就労後の夜の相談窓口が必要だと感じると同時に、なかなか就労できない若者のトレーニングの場として居酒屋をオープン。米沢が好きだという想いがベースにあるので、フリースクールやカフェレストラン、居酒屋が地域づくりに繋がるよう取り組んでいます。

## 縛られない活動がしたい

今の社会に対応できないだけでフリースクールに来るのは面白い子どもばかり。このような子どもたちと一緒に考えたり活動を行えるのが楽しい。また、NPOは決められた枠がないのが一番のメリットで、様々なアイデアを形にしやすいんです。フリースクールの卒業式ではお寿司屋さんを呼んで、その場で握ってもらうなど、NPOでしか実現できません。現在フリースクールには約20名が通っています。

## 今後の目標はワイン作り

個人的には山を買いたいと思っています。雇用創出の場としてブドウ畑を作り、ワインを生産したい。私も含め、米沢は日本酒好きな人が多く、試飲だけでなくなくなってしまうので、ワインが必要なんです(笑)。

NPOの活動としては米沢市以外にも受け皿を作り、のちに他のスタッフの拠点としてそこでの自立に繋げていきたい。また、海外へ行った経験から、経済的な理由で学校へ行けない事情を持つ外国の子どもたちにもっと関わりたいんです。日本人は努力すれば何でもできるが、海外は違う。そういった子どもたちがチャンス掴めるような支援をしていきたいですね。

## 米沢に来たら、義経焼きを食べてほしい

四季がはっきりしている米沢。みんなで助け合った冬の雪かき。その後に迎える春に喜びを感じます。都会的な所より山が好きなので、キノコや山菜採りで良く山に行きますね。また、米沢ラーメンはもちろんですが、羊の肉を味噌で味付けした米沢のソウルフード「義経焼き」が大好きです。



## PROFILE

白石祥和 さん

33歳

特定非営利活動法人 With優 代表



白石さんが運営する「特定非営利活動法人 With優」。地域に住む子ども達や大人が自分らしさを大切にし、生き生きと幸せに生きること、地域に笑顔が広がること、優しい地域社会作りを寄与することを目的とした活動を行っています。



# 人と人との交流を大切にしています



私の住む小野川町は温泉街なんですが、若手主体の組織「小野川温泉観光知実行委員会」の委員長を務めています。温泉街の環境整備やイベントの企画・運営などを行っています。この地区は若手も自由にチャレンジさせてもらえる環境があって、やりがいを感じています。

本業である甲子大黒天では写経体験や腕念珠作りなど、若い人に親んでもらえるような取り組みを始めました。また、コミュニティセンターの推進委員として地域の活動に参加したり、置賜三十三観音札所会でも事務局長を務めたりと、毎日忙しい日々を送っています。

様々な分野で活動を行う中で、たくさんの人と出会う機会が

あります。そのおかげで、セミナーや研修に行かなくても多くのことを学ぶことができました。これは副山主として狭い山にこもっていたのでは出来ない貴重な経験です。

大変なのは様々な組織に所属しているので、忙しい時はどちらに出席するかを選択を迫られ、後にそのしわ寄せがきてしまうこと。また、組織としての活動では、いい時には人が集まるが、悪くなった時、どのように皆で乗り越えていくかが現在直面している課題です。観光地での活動なので常に数値的な結果が求められるのも大変です。ですが、若手10人の委員会で、同じ目標を持つ仲間たちと、楽しく活動しています。



中心部から車で約15分と気軽に行ける米沢の奥座敷、小野川温泉。小野小町開湯と伝えられ、すべての旅館で源泉100%かけ流しの「美人の湯」として親しまれています。

## 米沢の魅力はつながり

米沢は、地域の小さなお祭りが、きちんと受け継がれているのが魅力的だと思います。生活の中で異変にすぐ気付ける繋がりがあり、ご近所さんが留守でもだいたいどこにいるのか分かります。移動手段が無いおばあさんを病院に乗せていってあげたり、他にも雪おろしでの助け合いの精神が残っています。

小野川温泉には「ほたるの里」というキャッチフレーズがあります。天然の蛍が温泉街から歩いて見に行けるのは全国的にも珍しいんですよ。

## 人が集まる場所を作りたい

本業では、お寺を若い人がたくさん来てもらえるような場所にしたいと考えています。もともとお寺は村の人が集まる中心の場所だったので、いろいろな人が気軽に集まれる場所になればと思います。

具体的には、県内では他にやっているところの無い、腕念珠作りの企画を準備中です。ストレスの多い現代社会で普段の生活からちょっと離れたこういう世界に来てもらって非日常の世界を味わっていただくことでリフレッシュして欲しいです。



## PROFILE

関谷寛明 さん

39歳

甲子大黒天 副山主

小野川温泉観光知実行委員会実行委員長など

# 思い切って カフェをオープン



海外留学や東京での生活を経て米沢に戻り旅行会社に勤めていたのですが、もう一度外に出るか、米沢に残るかを考えました。

今でこそカフェはたくさんありますが、当時はファミリーレストランくらい。米沢に残るならお店をやりたいと思っていたので、「大人がくつろげる、自分が行きたいと思える店を」という理由でカフェをオープンしました。

お店を始めてから仲良くなった人がたくさんいます。嬉しい時には一緒に喜び、時には厳しく言ってくれたり、心配をさせてしまったりする仲間が、お店に足を運んでくれることにやりがいを感じます。個人事業主のお客さんが多いので、同じような考えの仲間が集まり、楽しくやっています。



また、子どもが生まれたことで、お店もお子さんを連れたいお母さんが安心して過ごせるように、おもちゃを置いたり、おむつを替える場所を設けました。自分の経験から、子供がいるお母さんはどこに行けば良いのか悩んでいるという発見があったので、そういった人たちに安心して落ち着いた時間を過ごしてもらえるようお店の環境を整えました。

## ゆっくり歩いて初めて見えてきたこと

犬の散歩で近所を歩くと車では見えないものを見ることができ、上杉神社の四季の移ろいなどを感じると素敵な街だと思います。米沢の人も含めて、ぜひ歩いて欲しいと思います。歩くことによって自然の変化だけでなく、歩道の雪がどれほど大変かなどの気づきがたくさんあると思うんです。また、小さいコミュニティなので困った時に誰に聞けば良いのかが分かります。都会だと業者を調べるようなケースでも、お店のお客さんの繋がりで済んじゃうんですよ。

お昼は米沢ラーメン、夜は「明月」で焼き肉。焼き肉で口がしょっぱくなればパフェを食べに中心部に行くモデルコースがあります。「あらいや」のかき氷は小さい時からよく通っていて、3杯食べようとおじさんに2杯でやめるよう言われます(笑)。趣味は旅行でしたが、子供が生まれてからは「すこやかセンター」など、子どもが遊べる場所へよく行っています。

## PROFILE

羽生田美穂 さん

Daizy cafe オーナー

(米沢における若手カフェオーナーの先駆け)

## 今後の目標は「米沢の母」

さらに地元に着した活動をしたいと考えています。食の分野から野菜ソムリエの資格を取ったので、人との繋がりを活かして加工品などにも挑戦し、米沢の野菜を外へどんどん発信したい。また、大きく言えば「米沢の母」になりたい。カフェのカウンターは意外と悩み相談の場。これでもかかってくらいに激励するので困ったらぜひ来て欲しいと思います。



羽生田さんの経営する「Daizy Cafe」  
アジア的な雰囲気が漂うリラックスできる空間

# 誰かに喜んでもらえたら 自分も嬉しい



かつては大河ドラマ「天地人」で賑わった直江堤公園ですが、現在はすっかり訪れる人が減ってしまいました。その賑わいを取り戻すため、山形県の花である紅花をはじめ、桜やヒマワリ、コスモスなどの植栽活動を行うことで芋煮会や観光で訪れる人を増やしたいと思ったのがきっかけで、平成21年から直江堤の対岸、海老ヶ沢愛ランドで紅花を始めとする四季折々の花を栽培するボランティア活動を行っています。

大変なことは、何ととっても草むしりです。広大な農地なのであちちを取ればこっちが生えるといった感じで終わることがありません。種まきの時などは協力団体の皆さんに声を掛けて手伝ってもらうのですが、あくまでもボランティアなので普段の草むしりは基本的にひとりでの作業です。なので、休日はほとんど海老ヶ沢愛ランドで作業していますね。



満開になった紅花は、地区のみなさんと摘み取って、染料などに使われます。

種まきを小学生と一緒にすることもありますが、その際に学校の授業より楽しいと言ってもらえるのが一番の喜びです。栽培した花が満開に咲いた時も大きな喜びを感じます。作業中、咲いた花を見るために立ち寄ってくれる方に声を掛けられることもあり、普段は地味な作業が多いですがそんな時はやってきて良かったと思います。

## 米沢の魅力

四季がはっきりしているのが一番の魅力だと思います。また、雪は多いですが大きな災害がないというのも生活をしていく上ではいいですね。あとは蕎麦、肉、果物、山菜などの食べ物おいしいです。また、温泉がたくさんあるのも魅力ですね。私の住んでいる山上地区には「五色温泉」「滑川温泉」「姥湯温泉」「湯の沢」と4つもの温泉があり、どれも個性的で大好きです。



## PROFILE

### 鈴木彰一 さん

ボランティアエビガサワ代表  
海老ヶ沢地区で長年  
ボランティア活動を行っています

## 今後の目標

まずは紅花の生産量を増やすことです。その上で、今後は出荷で終わらず、しおりやハンカチなどに紅花染めをして、地域の資源として活用したいと考えています。現在のところ販売は考えていませんが、姉妹都市の愛知県東海市の小学生が上杉鷹山公と細井平洲先生の繋がりですら毎年米沢市を訪れてくれるので、より喜んでもらえるプレゼントを贈れればと思います。



## PROFILE

堀内敦 さん

76歳、東京都出身  
山梨県での会社員生活を経て  
平成9年に大沢へ移住  
山歩き歴60年  
奥さんの介護をしながら生活しています



LIFE STYLE I

# スペシャル対談 堀内さん >

大沢地区の魅力や資源  
移住者の目線から熱く

米沢市南東部に位置する山上地区の大沢地区はわずか10戸の集落ですが、2人の移住者が日々楽しく生活しています。移住のきっかけや大沢の魅力などについて語っていただきました。

## 大沢に来たきっかけ

**下里** 山での生活を希望し、知り合いに山の中の空き家を紹介してもらったのが偶然米沢の大沢でした。何回か来ていたので大体の場所は分かっていました。最初の2年はあまり滞在していませんでしたが、ここ5年ほどは冬もこちらで過ごしています。北海道出身なので雪は苦になりません。

**堀内** 私の場合は田沢や窪田など米沢市内でいろいろ家を探していたところ、空いている家が大沢にあったのがきっかけです。地区の人とは頼まれた役をこなす内に少しずつ打ち解けていきました。パソコンが得意なので事務処理の仕事で役に立たようです。今では街灯交換や蜂の巣の駆除など、我々が

の実働部隊です。すっかり大沢が故郷になりました。

## 大沢の魅力は？

**下里** なんといってもレベルの高い山菜をはじめとした豊かな山です。堀内さんとよく山で騒ぐんですが、さんざん汗をかいて堀内さんが谷川の水を使って淹れてくれるコーヒーは最高ですね。大沢、万歳！（山で騒ぐ・・・山を歩き回ること）

**堀内** 普通なら食べられない山菜がこの山にはあります。他にも山には珍しい花の群生地がありますが、こればかりは拷問されても教えられません。

**下里** 雪深い大沢でも堀内さんはデイサービスを上手に利用することで奥さんの介護を行いながら暮らしていますので、ゆっくりと第二の人生を送る場所としても良い環境だと思います。年配の方に来てもらうという考えも良いのではないのでしょうか。

**堀内** 介護生活では、私は料理が苦手なので食材宅配サービスを利用しています。最初はエリア外ということで断られましたが、交渉の結果契約できました。今ではいいお客さんです。

**下里** 堀内さんはデイサービスも駆使してますし、山居介護のひとつのスタイルを実践していますね。街中にはいろいろ騒音がありますが、ここでは小鳥のさえずりが聞こえ、心豊かにゆっくと暮らすことができます。

**堀内** ちなみに、山の生活というと仙人みたいに思われがちですが、私は携帯電話はもちろん、ノートパソコン2台にデスクトップ1台、他にタブレットも所有し、大沢の魅力を発信するのに活用しています。下里さんは不便な生活を快適に楽しんでますよね。

## 「大沢会議」

# 下里さん

の有効活用について、  
語っていただきました。



### PROFILE

下里昇一 さん

66歳、北海道出身  
平成20年から大沢と  
宮城県白石市の2地域居住



**下里** 山暮らしは楽しいというのを伝えたいですね。また、薬草も豊富なので介護の話と合わせて健康に良い場所としてアピールするのもいいのではないのでしょうか。猿が出るので野菜を作る自給自足は難しいですが、健康の自給自足が可能です。大沢には笠松旅館もあるし、今後は山菜や薬草を活用して薬膳料理に薬草風呂を始めてみるのも魅力的ですね。笠松旅館は大沢の財産です。

**堀内** 私も妻の介護を通じて薬草の効能を学びました。ここには薬草がたくさんあるので多少の病気は怖くありません。

**下里** それと、ここには歴史の街道が通っています。これをもっと繋げていくと面白いと思いますよ。先日、近くの樹齢500年の桑の木を堀内さんと見に行きましたが、もっと観光資源として活用できると思います。

**堀内** 500年なら兼統も鷹山も知っていることになりますからね。そしてこの桑の木もまた薬草です。街道歩きをするなら、出発地点は大沢駅でしょうね。

**下里** 駅といえば鉄道が通っているメリットをもっと活かして欲しいと思います。米沢まで約10分、福島まで約30分ですからね。車社会だけど、高齢者や遠くから来る人にとって鉄道は大きな強みです。

**堀内** 峠を越えて大沢に入った時に見える車窓の風景は最高ですね。鉄道があるおかげで陸の孤島になる心配はありません。たまに雪で電車が止まってしまうですが…。

**下里** それにしても人との出会いは面白いですね。わずか10戸の集落で堀内さんと出会い、このような付き合いになるとは想像できませんでした。

**堀内** 私は熊が出ようが山には一人で入りますが、やはり一緒だと心強いです。下里さんに教えてもらった場所もありますし、下里さんと出会えて良かったです。

**下里** ここは本当に素晴らしい山がありますが、地元の人は身近にいて見えないことが意外と多いです。大沢を元気にするために我々が地元の人たちを刺激し、さらに大沢の魅力の発信を行い、交流人口を増やす必要があると思います。大沢を限界集落ではなく、限界に「挑戦する」集落にしたいですね！



「大沢会議」の様子

# 米沢の道案内

米沢の名所や、観光スポット、インタビューで紹介した土地や場所をご案内いたします。

## ①上杉神社



## ②小野川温泉



## ③トトロの森



## ④斜平山



## ⑤たんぼアート



## ⑨白馬の騎士



## ⑥直江石堤



## ⑦水辺の楽校



## ⑧兜山



## ⑩吾妻の白サル



# 米沢の冬事情

豪雪地帯の米沢市で暮らすには、

雪に関する情報が不可欠。

もちろん雪に対する様々な対策が取られていますので、

除雪に関する情報を簡単にお伝えします。

雪と上手に付き合うことで

雪国ならではの魅力も得られます。

## 市道の除排雪について

雪が積もると除雪車が出動し、道路の雪をきれいに掃除してくれます。おかげで冬も安心して出かけることができます。

### どれくらい雪が降ると除雪車は出動するの？

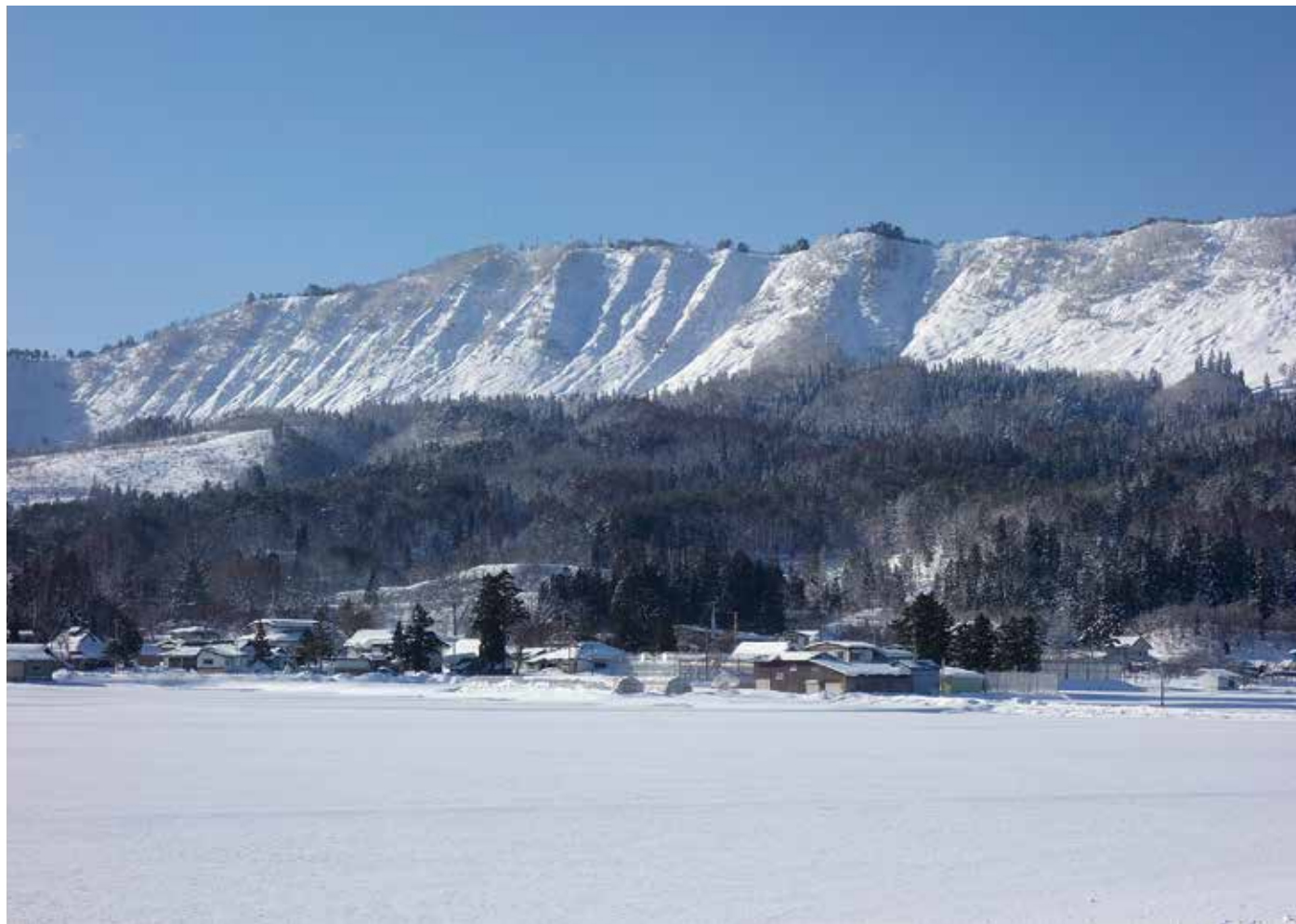
除雪車の出動基準は、朝までの降雪量が10cm以上と予想されるときです。(3/1～31は15cm以上)

### 除雪をする期間は？

除雪期間は、11月15日～翌年3月31日までです。

### 除雪の時間帯は？

車道は午前3時～7時、歩道は午前4時～7時に除雪を行います。



雪かきは大変ですが、助け合いの精神で乗り越えます。



小野川地区にある、雪を利用して作られたかまくら村。ラーメンの出前もしてくれます。



冬の西吾妻山は、スキーや登山客で賑わいます。



米沢上杉まつり



なせばなる秋まつり



上杉雪灯籠まつり

# たどり着いたのは、米沢 山形県米沢市 | 移住・交流ガイドブック

## お問い合わせ先

移住に関するお問合せ

米沢市 総合政策課

観光に関するお問合せ

米沢市 観光課

〒992-8501 山形県米沢市金池5丁目2番25号  
TEL.0238-22-5111 (代)

暮らしに役立つ  
情報満載。



米沢市公式  
ホームページ

<http://www.city.yonezawa.yamagata.jp/>

イベント・観光  
なら観光ナビ。



米沢  
観光ナビ

<http://www.yonezawa-kankou-navi.com/>

米沢のニュースを  
まったりお届け。

facebook  
米沢市役所  
フェイスブック



<https://www.facebook.com/city.yonezawa>